

2016 年 12 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に 川崎医科大学総合医療センター放射線科において前立腺がん放射線治療を 受けられた方及びご家族の方へ

—「前立腺がん高精度放射線治療において肛門挙筋が前立腺位置に与える影響について」へのご協力の
お願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、病院長の許可を得ています。

研究責任者 岡山大学病院 放射線技術科学 教授 田辺 悦章

研究分担者 岡山大学病院 医療技術部（放射線部門） 技術補佐員（診療放射線技師） 荒巻 清菜

1. 研究の概要

前立腺がんの放射線治療では前立腺の位置変動が治療効果に悪影響を及ぼす。日々の位置照合の際に、直腸や膀胱の大きさ・肛門挙筋の形状の変化により、前立腺の位置は変動します。肛門挙筋の変化が前立腺の位置変動に関係するのか評価します

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2016 年 12 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学総合医療センター放射線科において前立腺がんの放射線治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に川崎医科大学総合医療センターにおいて前立腺がんの放射線治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療計画 CT を基準とした治療期間中に取得したコーンビーム CT の肛門挙筋と前立腺の位置移動量の関係について調べます。

4) 使用する情報の種類

肛門挙筋の大きさ、膀胱量、直腸の大きさなど

5) 外部への情報の提供

共同研究機関である岡山大学の研究に関するデータを送付します。

個人が特定されることのないよう、氏名、住所、生年月日などの個人識別情報を削除または加工し、匿名化処理を施した上で提供いたします。匿名化された情報は、第三者が元の個人を識別することが

できない形式で管理され、個人情報保護法および関連法令に基づき適切に取り扱われます。

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター 放射線治療センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2027年3月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部

氏名：鐵原 滋

電話：086-225-2111 内線 80015（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：skanahara@hp.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

研究代表機関 川崎医科大学総合医療センター

研究代表責任者 鐵原 滋

共同研究機関 岡山大学学術研究院保健学域 放射線技術科学分野

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、岡山大学医療系部局臨床研究における利益相反マネジメント委員会に申告し、適正に管理されています。